

セミナーのお知らせ

演題 細胞膜リン脂質のスクランブルを担う タンパク質の同定

細胞膜リン脂質のホスファチジルセリン(PS)は細胞膜の内側に存在しており、細胞死や血液凝固の時には細胞表面に露出されシグナル分子として機能する。しかしPS露出の分子機構は全く不明であった。

本講演においては、我々が同定したPSを表面に露出するタンパク質(TMEM16F, Xkr8)に関して、同定のプロセスを中心にお話いたします。

講師 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫・生化学 寄付研究部門 鈴木 淳 准教授

Biochemistry & Immunology,
Immunology Frontier Research Center, Osaka University
Jun SUZUKI Ph.D.

日程 2015年12月18日(金) 16:00 - 17:00 December 18, 2015 16:00-17:00

会場 微生物病研究所本館1階 微研ホール Biken Hall, RIMD

連絡先: 岡田雅人 Masato Okada 微生物病研究所 発癌制御研究分野
okadam@biken.osaka-u.ac.jp Tel: 06-6879-8297(内線8297)

(※このセミナーは医学系研究科博士・修士課程の単位認定セミナーです)